



月形町義務教育学校 開校準備委員会だより

【発行日】令和7年4月16日
月形町義務教育学校開校準備委員会

第7号

～ みんなで新しい学校をつくろう！ ～

◆第5回開校準備委員会（2月19日）

≪義務教育学校建設事業に係る状況について≫

■建設に係る判断について

（上坂町長）

- ・準備委員会の皆様には、新しい学校の校名についての協議をしていただいたにも関わらず、ご心配をおかけすることとなり大変、申し訳なく思っております。
- ・令和7年度の着工は見送ることとしましたが、令和8年度には予算計上をしたいと考えています。
- ・皆さんにはご苦勞をおかけいたしますが、この準備委員会の歩みを止めることなく準備を進めていただきたいと思います。

（藤原副町長）

- ・財政的な課題はありますが、基金の取り崩しや、事務事業の見直しをして必要な事業に充てていくという作業は、学校を建てる建てないに関わらず進めていかなければならないと思っています。
- ・インフラ整備の中の一つとして、学校整備があり、他にもいろいろな整備をしなければならない事業がありますが、一時に集中しないように平準化していくという考えに立って、この準備委員会で議論を重ねていただいたことが無駄にならないように準備を進めていきたいと考えています。



各委員からの主なご意見及びご質問

各委員からの主なご意見

- ・年々、物価が上がっている状況の中、期間を置けば置くほど事業費が上がって、現実味がなくなっていくような気がします。
- ・町のインフラ事業も控えている中で心配です。町全体のインフラを考えて、優先順位をつけて、学校建設は待てるものなら待ったほうがよいのではないのかなと思います。
- ・事業費が50億円近くかかるという状況で、もっと経費を抑えないといけないと思います。新しく学校を建設する時に、学校開放は必要ないと思いますし、そうすればセキュリティの経費もかからなくなると思います。経費を削れる方法をもっと模索してほしいです。ずっと0か100かで考えているのが気になっていて、100を80にすることはできるんじゃないかと思います。1億でも2億でも経費を削ったほうが町のためになると思います。
- ・建設を反対しているわけではないんです。建てたほうがよいと思っているんですが、町長と議会で話し合ったり、役場で協議をして、適切な時期に建てていただければと思っているだけなんです。

■今後の開校準備委員会の在り方について

（柴田委員長）

- ・町と教育委員会から説明をいただいたわけですが、少なくとも1年間のブランクがあるのは確実な話で、不安もある方もいらっしゃると思いますし、学校名を決める段階まで来ていて中断をしている状況にあります。3月に委員会をもう一度開催し、準備委員会の今後の在り方について協議をすることとします。



← 今までの開校準備委員会だより
はこちらからご覧いただけます。

→ 今までの総合教育会議の結果は
こちらからご覧いただけます。



「義務教育学校開校準備委員会」を解散～町の方針決定後に再開～

◆第6回開校準備委員会（3月27日）

《義務教育学校建設事業に係る状況について及び今後の本委員会の在り方について》

（兼平教育長）

- 委員の皆様におかれましては、準備委員会の発足以来、濃密で真摯な議論を重ねていただき、ようやく校名の候補を絞り込んでいただき、子どもたちのアンケートを実施しようというところまで進めていただきました。しかし、建設資材の高騰などの影響を受け、財政面での不安の声が上がることとなり、当委員会も議論を中断せざるを得ない状況となってしまいました。
- 前回の準備委員会の中で、町長より令和8年度の建設に向けての意思表示をされたところでしたが、今日現在、明確に公的な場においての意思表示をされる状況にはございませんでした。
- 教育委員会としましては、令和8年度の着工を前提に新年度も皆さんに引き続き準備委員会の委員の継続をお願いしたいと考えていたところですが、今までの経過の中で、退任を考えていらっしゃる委員さんもおられることをお聞きしており、選出母体の団体に推薦のお願いをしなければならないことにもなりますが、現在の状況の中で、お願いをするわけにはいかないと考えましたし、委員の皆さんに継続のお願いをすることもあまりにも失礼ではないかと考えました。
- 以上のことを鑑み、本当に勝手に申し訳ありませんが、準備委員会の皆様には一旦、ご退任いただき、もし、着工時期が決定いたしましたら、その段階で改めて委員の選出について、ご提案申し上げたいと考えています。これまでの真剣な話し合いを無下にするような形となりましたことを心よりお詫び申し上げます。

各委員からの主なご意見及びご質問

各委員からの主なご質問	
Q	今までの2年間でいろいろ決めたことを、次の準備委員会が組織されたときに、また最初から検討が始まるのでしょうか。それとも、今までの協議を引き継ぐのでしょうか。
A	ここまでしっかりと議論を積み上げてきていただいておりますので、可能な限り今までの話し合いが無駄にならないようにさせていただきたいと考えています。ただし、着工時期が大きく延びることになった場合などは、学校の整備指針や設計も変わることになるかと思えます。
各委員からの主なご意見	
	・来年度着工するということが明確であれば、残って協議していこうと思うけれど、そこが明確になっていない中で、準備だけ一生懸命しても何のための準備なんだということになると思う。
	・私は準備は先にやっておいた方がよいのではないかなと思うんです。学校の名前を決めたりするのも直前ですというよりは、例えば、5月には新しい準備委員会の体制で進むほうがよいのではないかなと思います。

（柴田委員長）

- 前回の会議では、準備委員会を一旦中断をして、解散をしようという考えも一つあったかなと思うんです。先ほどのご意見のとおり、先が見えない中で、準備委員会としては何をするんだということになると思います。メンバーを刷新して、前に進むというのは「学校を建設します」と町の方針が明確に出たときに初めて、準備委員会が動くことになると思うんです。
- 皆さんの同意を得て、議決したいと思います。私たち、現準備委員会を解散することとして合意いただけますでしょうか。（はいの声）
- 残念ではありますが、この準備委員会を解散することとします。
- 二年間、準備委員会の委員として携わっていただいた皆さんに私の方からも本当に御礼申し上げます。熱心な議論にご協力いただき、学校名をノミネートできるくらいまで準備を進めて来たわけですが、あとは、町に何とか学校を建設できるように頑張ってくださいよう期待をするところです。

本書のとおり、3/27 開催の開校準備委員会にて、本年3月31日をもって現開校準備委員の任期を解くことについて、教育委員会から提案をさせていただき承認をいただきました。今後、学校整備についての町の方針が正式に決定した場合には、再び開校準備委員会での協議を再開させていただくことを予定しております。